

マルチモダリティによる Abdominal Imaging 2010

特集1 技術編 それぞれの技術の到達点

企画協力：村上卓道 近畿大学医学部放射線医学教室教授
 工藤正俊 近畿大学医学部消化器内科学教室教授

4月号と5月号は、本誌恒例のマルチモダリティ特集です。今回は、2008年に続いて、腹部領域（肝・胆・膵・腎・副腎）の診断・治療におけるアルゴリズムに基づく戦略的モダリティ選択とその有用性を取り上げます。4月号では、3T MRIや新しい造影剤（US, MRI）の普及、ハード・ソフトの技術的進歩などにより多様化する腹部画像診断について、モダリティ別に“技術の到達点”をご紹介します。さらに5月号では、これらの技術を日常臨床に役立てていくための“戦略と選択”について、臨床現場（各科の立場）からご報告いただきます。

特集2 5月号【臨床編】 日常臨床における戦略と選択〈予告〉

●肝

1. 肝がん（肝細胞がん）の診断・治療におけるアルゴリズム

- 1) 武蔵野赤十字病院消化器科（泉 並木）
- 2) 岐阜大学医学部附属病院放射線科（渡邊春夫 / 兼松雅之）
- 3) 市立池田病院消化器内科（今井康陽）

2. 転移性肝がんの診断・治療におけるアルゴリズム

- 1) 外科の立場から：近畿大学医学部附属病院（奥野清隆）
- 2) 内科の立場から：兵庫医科大学超音波センター（田中弘教）
- 3) 放射線科の立場から：大阪大学医学部附属病院（坪山尚寛 / 金 東石）

3. 早期肝細胞がんの診断・治療におけるアルゴリズム

- 1) 内科の立場から：近畿大学医学部附属病院（工藤正俊）
- 2) 放射線科の立場から：山梨大学医学部附属病院（市川智章）

4. 良性肝腫瘍の診断・治療におけるアルゴリズム

- 1) 国立がんセンター中央病院（鶴崎正勝）

5. 肝の3D・4D画像診断の臨床動向

- 1) CT, MRIについて：京都大学医学部附属病院放射線診断科（磯田裕義）
- 2) USについて：東京医科大学消化器内科（山田昌彦 / 森安史典）

●胆・膵

1. 胆道疾患の診断・治療におけるアルゴリズム

- 1) 外科の立場から：名古屋大学医学部附属病院（伊神 剛 / 柳野正人）
- 2) 内科の立場から：仙台オープン病院（野田 裕 / 藤田直孝）
- 3) 放射線科の立場から：川崎医科大学附属病院（山下武則 / 伊東克能）

2. 膵疾患の診断・治療におけるアルゴリズム

- 1) 外科の立場から：近畿大学医学部附属病院（竹山宣典）
- 2) 内科の立場から：手稲深人会病院消化器病センター（矢根 圭 / 真口宏介）
- 3) 放射線科の立場から：金沢大学附属病院（香田 渉 / 蒲田敏文）

●腎・副腎

1. 腎・副腎疾患の診断・治療におけるアルゴリズム

- 1) 内科の立場から：恒進會病院腎臓病センター（尾上篤志）
- 2) 放射線科の立場から：大阪府立成人病センター（伊藤康志）

●その他（最新動向）

1. USによる慢性肝炎・肝硬変の診断の最新動向 飯島尋子（兵庫医科大学）
2. CT-like imagingによる腹部IVRの最新動向 小川健二（日本鋼管病院）
3. 3D画像による肝臓解析の最新動向 高本健史（兵庫医科大学）
4. 腹部領域の診断・IVRの最新動向 高岡 了 / 佐竹光夫（国立がんセンター東病院）
5. 腹部領域におけるMRIの最新動向 戸上 泉（岡山済生会総合病院）
6. 256スライスCTによる腹部領域診断の最新動向 中浦 猛（天草地域医療センター）
7. 腹部領域におけるMRIアプリケーションの最新動向 谷 一郎（横浜栄共済病院）
8. ADCTによる腹部領域診断の最新動向 森口理久（静岡がんセンター）

